

(1時間: 45分)

授 業 科 目	必須／選択の別	学年	標準時間数
ITの職業と情報倫理	必須	1	20
システム開発の基礎	〃	1	30
ビジネスソフト活用	〃	1	30
基礎理論	〃	1	30
ハードウェア	〃	1	30
ソフトウェア	〃	1	30
データベースの基礎	〃	1	30
ネットワークとセキュリティ	〃	1	60
データ構造とプログラミング	〃	1	30
アルゴリズム	〃	1	90
ITストラテジとマネジメント	〃	1	60
情報セキュリティ	〃	1	30
Java 1	〃	1	90
データベース応用	〃	1	40
ビジネスマナーと文書技法	〃	1	30
システム開発とインフラ構築	〃	1	30
情報処理技術	〃	1	160
小計			820
総合情報処理1－1 (レベル2)	必須選択 ※1	1	100
総合情報処理1－1 (レベル3)	〃	1	100
総合情報処理1－1 (レベル4)	〃	1	100
自主課題研究1－1	〃	1	100
小計			100
必須科目計			920

Java 2	選択	1	30
選択科目計			30

※1 必須選択は、太枠内から1科目選択する。

ITシステム科1年 授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者 による授業	履修 年次	単位時間数	時間数 (90分)	科目概要
コアー 1 001	ITの職業と情報倫理	○	1年	20	10	これからITを学習するにあたって必要となる基礎知識とリテラシーについて、様々な具体例を通して学習する。 なお、本科目はIT企業でネットワークとセキュリティにかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と研究成果を活かして授業を行う。
コアー 1 011	システム開発の基礎	-	1年	30	15	システム要件定義からソフトウェア詳細設計工程について、講義と練習問題を通して様々なシステムの開発方法を習得する。
シスー 1 001	ビジネスソフト活用	-	1年	30	15	コンピュータの操作やビジネスソフトの利活用について、ワープロと表計算ソフトの実習を通して学習する。
コアー 1 002	基礎理論	-	1年	30	15	情報処理技術者に必要な「離散数学」「応用数学」「情報」「通信」「計測・制御」について、講義と豊富な練習問題を通して情報処理の基礎理論を習得する。
コアー 1 003	ハードウェア	-	1年	30	15	コンピュータのハードウェアとしての構成要素や動作原理について、講義と豊富な練習問題を通して習得する。
コアー 1 004	ソフトウェア	-	1年	30	15	コンピュータのソフトウェアとしての構成要素やインタフェース設計について、講義と豊富な練習問題を通して習得する。
コアー 1 005	データベースの基礎	-	1年	30	15	データベースの「概念」「データベース管理システム(DBMS)」「正規化」「SQL」について、講義と豊富な練習問題を通して習得する。
コアHー 1 006	ネットワークとセキュリティ	-	1年	60	30	ネットワーク及び情報セキュリティの概念と技術に関する知識を、講義を通して習得する。
コアー 1 007	データ構造とプログラミング	-	1年	30	15	プログラミングで必要となる「データ構造」「アルゴリズムの表現法」「代表的なプログラミング言語とその特徴」について、講義と練習問題を通して基礎的な知識を身に付ける。

ITシステム科1年 授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者 による授業	履修 年次	単位時間数	時間数 (90分)	科目概要
コアー 1 008	アルゴリズム	-	1年	90	45	フローチャート及び疑似言語を用いて代表的なアルゴリズムについて、講義と演習問題を通して表現できる知識を習得する。
コアー 1 012	ITストラテジとマネジメント	-	1年	60	30	企業におけるIT戦略で重要となる「システム戦略」「経営戦略」「企業と法務」「プロジェクトマネジメント」「サービスマネジメント」について、講義を通して用語知識を習得する。
Hー 1 813	情報セキュリティ	-	1年	30	15	情報セキュリティ管理や情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)など情報セキュリティの実践的な知識や技術について、講義と過去問題を通して身に付ける。
シスHー 1 006	Java1	-	1年	90	45	企業のシステム開発やアプリ開発でニーズが高いJavaについて、講義・机上演習・実習を通して基本文法から基本的なアルゴリズムのプログラミングまでを習得する。
シスHー 1 004	データベース応用	-	1年	40	20	システム開発に欠かせない基盤技術となっているデータベースを操作するSQLについて、知識だけでなく実際に目的からSQLを構築できる能力を養う。
人力ー 1 002	ビジネスマナーと文書技法	○	1年	30	15	ビジネスマナーとeメールを含むビジネス文書について、講義とさまざまなケーススタディにおける接客対応の実例や確認問題を通して習得する。 なお、本科目はコンテンツ開発企業でコンテンツ制作とプロデュースにかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
Hー 1 120	システム開発とインフラ構築	○	1年	30	15	IT企業就職時に日常どのような業務を行うのかを講義する。「就職」「システム開発」「インフラ構築」の3つを大きな授業の柱としている。一連の開発業務の流れ、近年主流となっているインフラ構築系技術を解説していく。なお、本科目はIT企業でシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。
Hー 1 806	情報処理技術	-	1年	160	80	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。
Hー 1 128	総合情報処理1ー1(レベル2)	-	1年	100	50	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル2:「基本情報技術者試験(レベル2)」シラバスに準拠した知識を習得する。

ITシステム科1年 授業科目のシラバス一覧

科目番号	科目名	実務経験者 による授業	履修 年次	単位時間数	時間数 (90分)	科目概要
H - 1 129	総合情報処理1-1(レベル3)	-	1年	100	50	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル3:「応用情報技術者試験(レベル3)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 1 130	総合情報処理1-1(レベル4)	-	1年	100	50	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能(スキルレベル4)を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル4:「情報処理安全確保支援士試験(レベル4)」シラバスに準拠した知識を習得する。
H - 1 119	自主課題研究1-1	-	1年	100	50	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。
シスH - 1 007	Java2	-	1年	30	15	Javaプログラミングの作業を通して、Javaの概要を理解するとともに、Java言語を使用してファイルを利用したシステムの作成方法を学ぶ。

科目番号：コア-1001

科 目 名			時間数(90分)			
I Tの職業と情報倫理			講 義	演 習	実 習	合 計
			10			10
科 目 概 要	これから IT を学習するにあたって必要となる基礎知識とリテラシーについて、様々な具体例を通して学習する。 なお、本科目は IT 企業でネットワークとセキュリティにかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と研究成果を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	取得すべき資格や将来について考えるとともに、ネット上の脅威から身を守り安心してサービスを利用する知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	I Tと応用分野		16		
	2	I Tの職業と資格		17		
	3	学生を狙う悪質商法		18		
	4	個人情報とパスワード		19		
	5	不当請求と迷惑メール		20		
	6	メールや掲示板のマナーと法律		21		
	7	著作権、していいことと悪いこと		22		
	8	逮捕されるネットユーザたち		23		
	9	コンピュータウイルスと対策		24		
	10	科目試験		25		
	11			26		
	12			27		
	13			28		
	14			29		
	15			30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	I Tの職業と情報倫理		SCC		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			＜評価基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：コア-1011

科 目 名			時間数(90 分)			
システム開発の基礎			講 義	演 習	実 習	合 計
			12	3		15
科 目 概 要	システム要件定義からソフトウェア詳細設計工程について、講義と練習問題を通して様々なシステムの開発方法を習得する。					
学 習 到 達 目 標	システム開発の流れと各工程の役割で必要な手法や手順を理解することで、最適なシステムを構築するための基礎知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ソフトウェア開発モデル				
	2	ライフサイクルプロセス				
	3	ソフトウェア開発手法				
	4	要件定義とソフトウェア設計				
	5	構造化設計				
	6	モジュール設計				
	7	構造化設計例の解読演習				
	8	データ中心設計				
	9	データ中心設計の解読演習				
	10	オブジェクト指向設計				
	11	オブジェクト指向設計演習				
	12	システム開発のテスト				
	13	ソフトウェアの導入と保守				
	14	ソフトウェア開発管理				
	15	科目試験				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	システム開発		SCC		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：シス-1001

科 目 名			時間数(90 分)			
ビジネスソフト活用			講 義	演 習	実 習	合 計
					15	15
科 目 概 要	コンピュータの操作やビジネスソフトの利活用について、ワープロと表計算ソフトの実習を通して学習する。					
学 習 到 達 目 標	ワープロと表計算ソフトの基礎機能から応用機能まで理解することで、ビジネスソフトの利活用とビジネスへの提案できる力を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ワープロ基本操作		7	表作成の基本	
	2	書式の設定		8	基本テクニック	
	3	効率的な文書作成		9	コピーと移動	
	4	表と罫線		10	表のレイアウト	
	5	スタイル			関数	
	6	ページレイアウト		11	グラフの活用	
		イラスト・図形		12	大きな表を扱う	
				13	総合演習 1	
				14	Excel と word の連携	
					差し込み印刷	
					大きな文書の作成	
				15	総合演習 2	
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		30 時間 で マ ス タ ー Office2016 (Windows10 対応)		実教出版		
実 習 環 境	Microsoft Word					
	Microsoft Excel					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 1 (50%) ・課題提出 2 (50%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：コア-1002

科 目 名			時間数(90 分)			
基礎理論			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	情報処理技術者に必要な「離散数学」「応用数学」「情報」「通信」「計測・制御」について、講義と豊富な練習問題を通して情報処理の基礎理論を習得する。					
学 習 到 達 目 標	コンピュータ内でのデータ処理を理解して、最適なコンピュータシステムを選択するための基礎知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	離散数学（基数、基数返還）		11	通信に関する理論（伝送路・変復調方式）	
	2	離散数学（数値の表現）		12	通信に関する理論 （多重化方式、誤り検出・訂正）	
	3	離散数学（算術演算と精度）		13	通信に関する理論（信号同期方式）	
	4	離散数学（集合、論理演算）		14	計測・制御に関する理論	
	5	応用数学（確率と統計）		15	科目試験	
	6	応用数学 （数値計算、数値解析、数式処理）		16		
	7	応用数学 （グラフ理論、待ち行列理論、最適化問題）		17		
	8	情報に関する理論 （情報理論、符号理論、文字の表現）		18		
	9	情報に関する理論 （述語論理、形式言語、オートマン、計算量）		19		
	10	情報に関する理論 （人工知能、コンパイラ理論、プログラミング言語論、意味論）		20		
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		情報基礎理論		SCC		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	IT パスポート試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：コア-1003

科 目 名			時間数(90 分)			
ハードウェア			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	コンピュータのハードウェアとしての構成要素や動作原理について、講義と豊富な練習問題を通して習得する。					
学 習 到 達 目 標	ハードウェアから見たコンピュータの構成要素や動作原理を理解して、システムのハードウェア構成を決定するための基礎知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	コンピュータの構成		16		
	2	プロセッサ		17		
	3	プロセッサの性能とメモリの基本		18		
	4	メモリシステム		19		
	5	入出力デバイス		20		
	6	入出力装置の種類		21		
	7	ビデオメモリと補助記憶装置		22		
	8	補助記憶装置の容量と読み取り速度		23		
	9	システム構成		24		
	10	分散システム構成		25		
	11	信頼性設計と性能評価		26		
	12	信頼性特性と評価		27		
	13	電子回路		28		
	14	組み込みシステム		29		
	15	科目試験		30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	ハードウェア		SCC		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	IT パスポート試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：コア-1004

科 目 名			時間数(90 分)			
ソフトウェア			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	コンピュータのソフトウェアとしての構成要素やインタフェース設計について、講義と豊富な練習問題を通して習得する。					
学 習 到 達 目 標	ソフトウェアから見たコンピュータの構成要素やインタフェース設計を理解して、最適なソフトウェア構成を決定するための基礎知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	オペレーティングシステムとは		16		
	2	ジョブ管理とタスク管理		17		
	3	スケジューリングと割り込み		18		
	4	仮想記憶		19		
	5	OS の管理機能とミドルウェア		20		
	6	ファイルシステム		21		
	7	バックアップと開発ツール		22		
	8	言語処理ツール		23		
	9	オープンソースソフトウェア		24		
	10	ヒューマンインタフェース		25		
	11	インタフェース設計		26		
	12	マルチメディア技術		27		
	13	マルチメディア応用		28		
	14	まとめ		29		
	15	科目試験		30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	ソフトウェア		SCC		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	IT パスポート試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：コア-1005

科 目 名			時間数(90分)			
データベースの基礎			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	データベースの「概念」「データベース管理システム(DBMS)」「正規化」「SQL」について、講義と豊富な練習問題を通して習得する。					
学 習 到 達 目 標	データベースシステムの動作原理や利活用と基本的な設計を理解して、データベースを使った最適なシステムを構築するための基礎知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	データベースの基礎 (ファイル、DB の概念、DB の種類)		16		
	2	データベースの基礎 (データモデル、三層スキーマ)		17		
	3	データベース管理システム(DBMS)		18		
	4	データベース設計 (概要)		19		
	5	データベース設計 (第一正規化、第二正規化)		20		
	6	データベース設計 (第三正規化)		21		
	7	データベース設計 (物理設計)		22		
	8	データ操作 (データベース言語)		23		
	9	データ操作 (SQL の概要)		24		
	10	データ操作 (グループ化、副問合せ)		25		
	11	データ操作 (表の結合、集合関数)		26		
	12	トランザクション処理 (トランザクション管理、データ制御)		27		
	13	トランザクション処理 (排他制御、障害回復)		28		
	14	データベース応用		29		
	15	科目試験		30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	データベース		SCC		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	IT パスポート試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：コア H-1006

科 目 名			時間数(90 分)				
ネットワークとセキュリティ			講 義	演 習	実 習	合 計	
			30			30	
科 目 概 要	ネットワーク及び情報セキュリティの概念と技術に関する知識を、講義を通して習得する。						
学 習 到 達 目 標	ネットワーク分野とセキュリティ分野において、その概念を理解するのに必要な用語知識を身に付ける。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1	プロトコル OSI 基本参照モデル		20	情報セキュリティの基礎 情報セキュリティの概念		
	2	TCP/IP プロトコル階層モデルとプロトコル		21 ~22	暗号化技術 共通鍵暗号、公開鍵暗号		
	3	ネットワーク接続機器		23 ~24	認証技術 ハッシュ、電子署名、生体認証		
	4 ~5	IP アドレスのクラス IPv4、IPv6 サブネットマスク		25	情報セキュリティ管理 情報セキュリティマネジメントシステム		
	6 ~7	LAN におけるネットワーク接続形態 トポロジ、伝送媒体		26	情報セキュリティ管理 リスク分析と評価、セキュリティポリシ		
	8 ~9	LAN アクセス制御方式 CAMA/CD、トークンパッシング、TDMA		27	情報セキュリティ対策技術 人的、技術的、物理的		
	10 ~11	ネットワークサービス DNS、その他のネットワークサービス		28	情報セキュリティまとめ		
	12 ~13	伝送技術 直列伝送・並列伝送、誤り制御		29	総復習		
	14 ~15	計算問題 伝送効率、転送速度、ビット誤り率		30	科目試験		
	16 ~17	インターネットの接続機器 パケット交換、フレームリレー					
	18 ~19	ネットワークまとめ					
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
		主教材	ネットワークとセキュリティ		SCC		
実 習 環 境							
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体			
	IT パスポート試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構			
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可			

科目番号：コア-1007

科 目 名				時間数(90 分)			
データ構造とプログラミング				講 義	演 習	実 習	合 計
				15			15
科 目 概 要	プログラミングで必要となる「データ構造」「アルゴリズムの表現法」「代表的なプログラミング言語とその特徴」について、講義と練習問題を通して基礎的な知識を身に付ける。						
学 習 到 達 目 標	データ構造と基本形となるアルゴリズムを理解して、後続科目やプログラミングで必要となるアルゴリズムの基礎知識を身に付ける。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1	データ構造（概要、配列）		11	アルゴリズム（一次元配列の基礎）		
	2	データ構造（リスト）		12	アルゴリズム（一次元配列-線形探索-）		
	3	データ構造（スタックとキュー）		13	プログラミング（プログラミング作法、プログラム構造）		
	4	データ構造（木構造）		14	プログラミング （データ型、文法の表記法）		
	5	アルゴリズム（流れ図の概要）		15	プログラム言語とその他の言語		
	6	アルゴリズム（順次型、 選択型 -要素交換-）		16			
	7	アルゴリズム（順次型、 選択型 -条件分岐、最大値-）		17			
	8	アルゴリズム（繰り返し型の基本）		18			
	9	アルゴリズム（繰り返し型の応用）		19			
	10			20			
使 用 教 材	書 籍 名				出 版 社		
	主教材	アルゴリズムとデータ構造			SCC		
実 習 環 境							
目 標 資 格	資 格 名				実 施 団 体		
	IT パスポート試験				IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験				IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）				＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：コア-1008

科 目 名			時間数(90分)			
アルゴリズム			講 義	演 習	実 習	合 計
			45			45
科 目 概 要	フローチャート及び疑似言語を用いて代表的なアルゴリズムについて、講義と演習問題をを通して表現できる知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	より複雑なアルゴリズムを設計・表現する方法を習得するとともに、それをプログラム言語に置き換えることができる能力を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	疑似言語（記述規則）		26	文字列操作（線形探索-練習問題-）	
	2	疑似言語（フローチャート変換）		27	文字列操作（BM法）	
	3	一次元配列（合計・平均）		28	文字列操作（BM法-練習問題-）	
	4	一次元配列（練習問題）		29		
	5	二次元配列（添字表現、初期値設定）		30	文字列操作（文字列置換）	
	6	二次元配列 （行操作、列操作、縦計、横計、平均）		31 32	文字列操作（文字列置換-練習問題-）	
	7	二次元配列（練習問題）		33	文字列操作（文字列圧縮）	
	8	探索（線形探索）		34	文字列操作（文字列圧縮-練習問題-）	
	9	探索（線形探索-練習問題-）		35		
	10			36		ファイル処理（ファイルの特性）
	11	探索（二分探索）		37	ファイル処理（ファイル基本処理）	
	12	探索（二分探索-練習問題-）		38	ファイル処理（単数ファイル処理-概要、グループ制御-）	
	13				ファイル処理（単数ファイル処理-多重グループ制御、コントロールブレイク-）	
	14	整列（逐次決定法）		39	ファイル処理（単数ファイル処理-多重グループ制御、コントロールブレイク-）	
	15	整列（逐次決定法-練習問題-）			ファイル処理（単数ファイル処理-練習問題-）	
	16	40		ファイル処理（単数ファイル処理-練習問題-）		
	17	整列（隣接交換法）		41	ファイル処理（複数ファイル処理-マージ、マッチング-）	
	18	整列（隣接交換法-練習問題-）			ファイル処理（複数ファイル処理-アップデート、1対nの更新、メンテナンス-）	
	19			ファイル処理（-練習問題-）		
	20	整列（基本挿入法、シェルソート）		42	計算量	
	21	整列（クイックソート）			科目試験	
	22	整列（マージソート、ヒープソート）		43		
	23	整列（-練習問題-）		44		
	24	文字列操作（線形探索）		45		
	25	文字列操作（線形探索-練習問題-）				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	アルゴリズムとデータ構造		SCC		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	ITパスポート試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			＜評価基準＞ 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：コア-1012

科 目 名			時間数 (90 分)			
I Tストラテジとマネジメント			講 義	演 習	実 習	合 計
			30			30
科 目 概 要	企業における I T戦略で重要となる「システム戦略」「経営戦略」「企業と法務」「プロジェクトマネジメント」「サービスマネジメント」について、講義を通して用語知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	企業の様々なプロジェクトに対し、I T化を推進する人材としてアドバイスできる基礎知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	システム戦略		17	法務（知的財産権、セキュリティ関連法規）	
	2	システム企画				
	3	経営戦略マネジメント （経営戦略手法、マーケティング）		18	法務（労働関連・取引関連法規、その他の法律・ガイドライン・技術者倫理）	
	4	経営戦略マネジメント （ビジネス戦略、経営管理、技術戦略マネジメント）		19	法務（標準化関連）	
				20	プロジェクト統合マネジメント	
	5	ビジネスインダストリ（ビジネスシステム、エンジニアシステム）		21	プロジェクト・スコープ・マネジメント	
				22	プロジェクト・タイム・マネジメント	
	6	ビジネスインダストリ（e-ビジネス、民生機器、産業機器）		22	プロジェクト・コスト・マネジメント	
				22	プロジェクト品質マネジメント	
	7	企業活動（経営・組織論、会計・財務）			プロジェクト人的資源マネジメント	
	8	企業活動（経営環境の変化・課題）		23	プロジェクト・コミュニケーション・マネジメント	
	9	企業活動（会計・財務）				
	10	応用数学（事象と集合、論理演算と論理法則、命題、確率）		24	プロジェクト・リスク・マネジメント	
					プロジェクト調達マネジメント	
	11	応用数学（統計、数値解析、グラフ理論、待ち行列理論）		25	サービスマネジメント	
					運用設計・ツール	
12	OR・IE（線形計画法、日程計画）		26	サービスサポート		
13	OR・IE（在庫管理、ゲーム理論）			サービスデリバリ		
14	OR・IE（IE 分析技法、業務改善）		27	サービスマネジメント構築		
15	OR・IE（品質管理技法）			ファシリティマネジメント		
16	OR・IE（グラフ）		28	システム監査		
				内部統制		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	企業活動と IT マネジメント 第 2 版		SCC		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	IT パスポート試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・ 科目試験（100%）			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：H-1813

科 目 名			時間数(90分)			
情報セキュリティ			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	情報セキュリティ管理や情報セキュリティマネジメントシステム (ISMS) など情報セキュリティの実践的な知識や技術について、講義と過去問題を通して身に付ける。					
学 習 到 達 目 標	情報セキュリティ分野の高度な知識や技術を理解するとともに、企業のセキュリティ部署において活躍できる基礎力を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	暗号化①		16		
	2	暗号化②		17		
	3	無線LANの暗号化		18		
	4	認証①		19		
	5	認証②		20		
	6	デジタル署名とPKI①		21		
	7	デジタル署名とPKI②		22		
	8	情報セキュリティ対策①		23		
	9	情報セキュリティ対策②		24		
	10	情報セキュリティの脅威と攻撃手法①		25		
	11	情報セキュリティの脅威と攻撃手法②		26		
	12	情報セキュリティ管理①		27		
	13	情報セキュリティ管理②		28		
	14	まとめ		29		
	15	科目試験		30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	ネットワークとセキュリティ		SCC		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90点：秀 89～80点：優 79～70点：良 69～60点：可 59点以下：不可		

科目番号：シス H-1006

科 目 名			時間数 (90 分)				
J a v a 1			講 義	演 習	実 習	合 計	
			15		30	45	
科 目 概 要	企業のシステム開発やアプリ開発でニーズが高い J a v a について、講義・机上演習・実習を通して基本文法から基本的なアルゴリズムのプログラミングまでを習得する。						
学 習 到 達 目 標	J a v a の基本文法や標準ライブラリを使用して、基礎的なアルゴリズムのプログラミングができる技術を身に付ける。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1	Java の特徴と歴史 Java 開発環境 Java を使ったプログラム開発の流れ		23	配列を利用したプログラム技法 配列変数の代入		
	2	プログラム作成準備 プログラミング実習		24	多次元配列		
	3	良いプログラムを作るために 計算するプログラム		25	プログラミング演習 (配列)		
	4	簡単なプログラムの作成 デバッグ		26 27	プログラミング実習 (配列)		
	5	プログラミング演習 (デバッグ)		28 29	プログラミング実習 (配列)		
	6 7	プログラミング実習 (デバッグ)		30	まとめ		
	8	データの記憶		31	その他の制御文		
	9	プログラミング演習 (データの記憶)		32 33	プログラミング実習 (その他の制御文)		
	10	プログラミング実習 (データの記憶)		34	メソッドの概念		
	11	while 文、比較演算子 10 回繰り返すプログラム 複合代入演算子とインクリメント演算子		35	キーボード入力クラス オーバーロード		
	12	入力の繰り返し、for 文		36	プログラミング演習 (メソッド)		
	13	ループ型プログラムを作成するときの 注意点、for 文のネスト		37	プログラミング実習 (メソッド)		
	14	プログラミング演習 (繰り返し型)		38	画面出力と書式指定		
	15 16	プログラミング実習 (繰り返し型)		39	キーボード入力		
	17	if 文、if～else 文、else if 句		40	例外処理		
	18	文字列の比較、複合条件での分岐		41 42	プログラミング実習 (ストリーム入出力)		
	19	プログラミング演習 (分岐)		43 44	まとめ		
	20 21	プログラミング実習 (分岐)		45	科目試験		
	22	配列					
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
		主教材	Java の教科書		SCC		
	実 習 環 境	・ JDK (Java SE 7 以降)					
・ テキストエディタ (Cpad for Java)							
・ Web ブラウザ (ヘルプ参照等で使用)							
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体			
成 績 評 価 方 法	・ 科目試験 (100%)			＜評価基準＞ 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可			

科目番号：シス H-1004

科 目 名			時間数(90 分)			
データベース応用			講 義	演 習	実 習	合 計
			10	10		20
科 目 概 要	システム開発に欠かせない基盤技術となっているデータベースを操作する S Q L について、知識だけでなく実際に目的から S Q L を構築できる能力を養う。					
学 習 到 達 目 標	基本情報/応用情報に出題される S Q L の問題が解けるようになる。S Q L に習熟し、状況に応じて必要な S Q L を作成できるようになる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	S Q L 基本の復習		16	外部結合	
	2			17	追加 (INSERT)、更新 (UPDATE)	
	3			18	削除 (DELETE)	
	4	演算、文字列の結合		19	練習問題	
	5			20	科目試験	
	6			21		
	7	条件による絞り込み		22		
	8			23		
	9			24		
	10	グループ化		25		
	11			26		
	12			27		
	13	並び替え、重複排除		28		
	14			29		
	15			30		
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	スッキリわかる SQL 入門		インプレス		
	副教材					
実 習 環 境	クラウド実行環境					
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (50%) ・課題提出 (50%)			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：人力-1002

科 目 名			時間数(90 分)			
ビジネスマナーと文書技法			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	ビジネスマナーと e メールを含むビジネス文書について、講義とさまざまなケーススタディにおける接客対応の実例や確認問題を通して習得する。 なお、本科目はコンテンツ開発企業でコンテンツ制作とプロデュースにかかわる実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	基本的なビジネスルールを習得し、誤解や失礼のない定型的なビジネス文章が書けるようになることで、社会人として相応しい対応を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	コミュニケーション力とは				
	2	話すことと書くこと				
	3	効果的な話し方				
	4	敬語				
	5	職場のマナーと執務上のマナー				
	6	電話の受け方、掛け方				
	7	来客対応と席次				
	8	身だしなみ				
	9	効果的な書き方				
	10	電子メールの知識				
	11	電子メールの書き方、出し方				
	12	ビジネス文書の知識と構成				
	13	ビジネス文書の作成実践				
	14	まとめ				
	15	科目試験				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	表現技法～ビジネスマナーと文章技法～		SCC		
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：H-1120

科 目 名			時間数(90分)			
システム開発とインフラ構築			講 義	演 習	実 習	合 計
			15			15
科 目 概 要	IT 企業就職時に日常どのような業務を行うのかを講義する。「就職」「システム開発」「インフラ構築」の3つを大きな授業の柱としている。一連の開発業務の流れ、近年主流となっているインフラ構築系技術を解説していく。 なお、本科目は IT 企業でシステム開発に携わった実務経験を持つ講師が、幅広い知識と経験を活かして授業を行う。					
学 習 到 達 目 標	IT 企業の業務内容を理解し、希望職種に対して明確なイメージを持てるようになる。希望職種のキャリアパスをイメージでき、2 年次コース選択に対し適切な判断が出来るようになる。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	就職動機付け-なぜ就職するのか				
	2	HCS 卒業後の進路(就職先)				
	3	企業とは-組織とは				
	4	IT 企業				
	5	技術職-ProjectManager				
	6	開発 Project-1				
	7	開発 Project-2				
	8	SI 事業縮小 - Platform Business				
	9	サーバエンジニア				
	10	Linux				
	11	Cloud 技術 1-概論				
	12	Cloud 技術 2-オンプレミス				
	13	Cloud 技術 3-仮想化				
	14	試験対策				
	15	科目試験				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	世界一わかりやすい				
		IT 業界のしくみとながれ		ソシム		
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可		

科目番号：H-1806

科 目 名			時間数(90 分)			
情報処理技術			講 義	演 習	実 習	合 計
			80			80
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-7	ガイダンス、基礎理論		61-62	サービスマネジメントとシステム監査	
	8-17	アルゴリズムとプログラミング		63	システム戦略と企画	
	18-22	コンピュータ構成要素		64-66	戦略マネジメント	
	23-24	システム構成要素		67-72	企業活動と法務	
	25-28	ソフトウェアとハードウェア		73-75	模試 3	
	29	ヒューマンインタフェースとマルチメディア		76	弱点補強 3	
	30-31	模試 1		77	最終対策	
	32	弱点補強 1		78-80	国家試験	
	33-38	データベース				
	39-48	ネットワークとセキュリティ				
	49-53	システム開発技術				
	54-55	模試 2				
	56	弱点補強 2				
	57-58	ソフトウェア開発管理技術				
	59-60	プロジェクトマネジメント				
	使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社	
主教材		情報基礎理論		SCC		
		ハードウェア		SCC		
		ソフトウェア		SCC		
		アルゴリズムとデータ構造		SCC		
		データベース		SCC		
		ネットワークとセキュリティ		SCC		
		システム開発		SCC		
		企業活動と I T マネジメント		SCC		
副教材						
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：H-1128

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 1-1（レベル 2）			講 義	演 習	実 習	合 計
			50			50
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 2：「基本情報技術者試験（レベル 2）」シラバスに従い体系的に学習し、基本情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1-5	ガイダンス、基礎理論				
	6-13	アルゴリズムとプログラミング				
	14-17	コンピュータ構成要素				
	18-19	システム構成要素				
	20-24	ソフトウェア／ハードウェア				
	25	ヒューマンインタフェース／マルチメディア				
	26-27	模試 1				
	28	弱点補強 1				
	29-33	データベース				
	34-40	ネットワーク／セキュリティ				
	41-43	システム開発技術				
	44-45	模試 2				
	46	弱点補強 2				
	47-48	ソフトウェア開発管理技術				
49-50	プロジェクトマネジメント					
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	情報基礎理論		SCC		
		ハードウェア		SCC		
		ソフトウェア		SCC		
		アルゴリズムとデータ構造		SCC		
		データベース		SCC		
		ネットワークとセキュリティ		SCC		
		システム開発		SCC		
		企業活動と IT マネジメント		SCC		
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	基本情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・ 科目試験（100％）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：H-1129

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 1-1 (レベル 3)			講 義	演 習	実 習	合 計
			50			50
科 目 概 要	経済産業省が、情報処理技術者としての「知識・技能」が一定以上の水準であることを認定している国家試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 3：「応用情報技術者試験 (レベル 3)」シラバスに従い体系的に学習し、応用情報技術者試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-4	コンピュータ科学基礎				
	5-8	コンピュータアーキテクチャ				
	9-12	基本ソフトウェア				
	13-18	通信ネットワーク				
	19-24	データベース				
	25-28	ソフトウェア工学				
	29-32	システム構成技術				
	33-38	マネジメント				
	39-40	AM対策				
	41-44	PM対策				
	45-47	模擬試験				
	48-50	弱点補強				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	応用情報技術者試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：H-1130

科 目 名			時間数(90 分)			
総合情報処理 1-1（レベル 4）			講 義	演 習	実 習	合 計
			50			50
科 目 概 要	情報セキュリティスペシャリスト試験の後継となる試験で情報セキュリティに関する高度な知識・技能（スキルレベル 4）を認定する試験である情報処理安全確保支援士試験取得を目標に、独立行政法人情報処理推進機構が提供するレベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに準拠した知識を習得する。					
学 習 到 達 目 標	レベル 4：「情報処理安全確保支援士試験（レベル 4）」シラバスに従い体系的に学習し、情報処理安全確保支援士試験の取得レベルの知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-3	情報セキュリティ				
	4	リスクマネジメント				
	5-16	主な侵入・攻撃方法と対策				
	17-23	ネットワークセキュリティ				
	24-29	電子メール、Web アプリケーション				
	30-36	認証技術				
	37-42	情報セキュリティマネジメント				
	43-45	シングルサインオン				
	46-48	模擬試験				
	49-50	模擬試験解説				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各コースで選定された対策テキスト				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
	情報処理安全確保支援士試験			IPA 独立法人情報処理推進機構		
成 績 評 価 方 法	・科目試験（100%）			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：H-1119

科 目 名			時間数(90分)			
自主課題研究 1-1			講 義	演 習	実 習	合 計
				50		50
科 目 概 要	学習した内容を総合的に活用し、社会人として実践的に活用可能なテーマを個人ごとに設定し、創作(学習)活動をする。 ① 過去に習得したゲーム開発技術を応用し、自分のスキルをアピールすることができる作品の制作を目指す。 ② 高度種等の国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供する目標資格シラバスにもとづいて、各自スケジュールを管理して学習する。					
学 習 到 達 目 標	所属学科によって選択するものは異なる。 ① クリエイタ系の就職活動で必須となる作品審査に提出することのできるゲーム作品を1作品完成させるとともに付随する作品紹介資料を完成させる。 ② 国家試験取得をテーマに設定した場合は、独立行政法人情報処理推進機構が提供するシラバスに準拠した知識を身に付ける。					
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容	
	1	ガイダンス				
	2-3	学習テーマ設定				
	4-50	自主創作(学習)活動				
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社		
	主教材	各自必要となるテキストを用意				
	副教材					
実 習 環 境						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体		
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点： 秀 89～80 点： 優 79～70 点： 良 69～60 点： 可 59 点以下： 不可		

科目番号：シス H-1007

科 目 名				時間数(90 分)			
J a v a 2				講 義	演 習	実 習	合 計
					15		15
科 目 概 要	J a v a プログラミングの作業を通して、J a v a の概要を理解するとともに、J a v a 言語を使用してファイルを利用したシステムの作成方法を学ぶ。						
学 習 到 達 目 標	実務を想定したシステム構築を行うことができる。具体的には、スポーツクラブを題材にした会員情報管理システムを構築する。						
講 義 計 画	回	内 容		回	内 容		
	1	ファイルの構造と入出力手順					
	2	テキストファイルの入出力					
	3	ファイルに関する情報の取得と操作					
	4	ファイルを利用したシステムの作成					
	～						
	15						
使 用 教 材	書 籍 名			出 版 社			
	主教材	Java の教科書		SCC			
	副教材						
実 習 環 境	Eclipse						
目 標 資 格	資 格 名			実 施 団 体			
成 績 評 価 方 法	・課題提出 (100%)			<評価基準> 100～90 点：秀 89～80 点：優 79～70 点：良 69～60 点：可 59 点以下：不可			